

学校推薦型選抜（公募）Ⅱ期 国語「基礎学力調査」

【一】 次の文章を読んで、後の問い（問一～六）に答えなさい。

「路地」という言葉（の響き）から、どのような空間がイメージされるだろう。一般的には「建物と建物の間の狭い道路」を指すが、この語句には注意を要する。というのも、辞書で説明される意味、あるいは東京での使われ方と大阪や京都のそれとは、まったく内容が異なるからだ。十代までの大半を大阪で過ごした小説家・宇野浩二（一八九一―一九六一）の言葉を借りるならば、路地を「大阪では『らうぢ』と云ひ……東京で云ふ路地とは意味が違ふ」のである（宇野浩二『大阪』）。東京では狭い道路（通路）を指すにすぎないのだが、大阪のそれはどう違うのだろうか？

表通りに面して町家が建ち並ぶと、ひとつのブロックの中央部には空地が発生する。そこに、表通りの家屋と家屋のあいだから通路を通すと、内部の空地にも家屋（裏長屋）を建設することが可能となる。「路地（ろうじ）」とは、通路のみならず、内部の家屋までも含めた空間を指すコシヨウなのであった。ヴァリエーションは多々あるけれども、今でも京都には、「ろうじ」が数多く存在している。

この「通路＋家屋＝生活空間」としての「路地」は、大阪の近代文学におけるモチーフともなった。宇野自身は、小説『十軒路地』と、その「十軒路地」をサイホウするエッセーを著したし、宇野の大阪論から多大な影響を受けた織田作之助（一九一三―一九四七、以下「織田作」）もまた、「路地」を描いた作品をいくつも残している。

織田作の代表的な作品『わが町』から、「路地」の描写を引用しておこう。

路地は情けないくらい多く、その町にざっと七〔一〕八十もあるうか。

いったいに貧乏人の町である。路地裏に住む家族の方が、表通りに住む家族の数よりも多いのだ。

地藏路地は「」の字に抜けられる八十軒長屋である。

なか七軒挟んで「」の字に通ずる五十軒長屋は榎路地である。

入口と出口が六つもある長屋もある。狸裏（ひねり）といい、一軒の平屋に四つの家族が同居しているのだ。

銭湯日の丸湯と理髪店朝日軒の間の、せまくるしい路地を突き当たったところの空地を、「」の字に囲んで、七軒長屋があり、河童路地（がたろ）という。
（織田作之助『わが町』）

彼の自伝的小説『青春の逆説』にもルイジ（う）する描写はあるが、ここで注目しておきたいのは、これらの路地が実在したかどうかといった創作上の問題ではなく、「く路地は……長屋である」とか「く長屋は……路地である」という、「路地」と「長屋」の互換性である。織田作の叙景は、「抜けられる」かどうかさえわからない通路と、それに沿った裏長屋を一体的な生活空間として捉えるカイネン（え）が、まさに「路地（ろうじ）」であったことを示しているのだ。

（加藤政洋『大阪』より）

〔問一〕 傍線部(あ)～(え)にあてはまる漢字を含む熟語を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

(あ)	コシヨウ	① 証言	② 多少	③ 対称	④ 衝撃	⑤ 一生
(い)	サイホウ	① 火災	② 祭日	③ 搭載	④ 再三	⑤ 彩光
(う)	ルイジ	① 地震	② 時刻	③ 公示	④ 酷似	⑤ 事象
(え)	ガイネン	① 既成	② 街灯	③ 憤慨	④ 心外	⑤ 一概

〔問二〕 二重傍線部(ア)～(エ)の意味として最も適切なものを、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

(ア)	注意を要する	① 慎重さが求められる	② 大胆な分析が求められる
		③ 否定的な解釈が求められる	④ 肯定的な解釈が求められる
		⑤ 我慢強さが求められる	
(イ)	借りる	① 真似する	② 引用する
		③ 手本にする	④ 肯定する
		⑤ 理解する	
(ウ)	せまくるしい	① 騒々しいさま	② 耐え難いさま
		③ 窮屈なさま	
		④ 心苦しいさま	⑤ 痛々しいさま
(エ)	一体	① 相互にまったく関連がない	② 相互に矛盾しあっている
		③ 互いに完全に同一化している	④ ほどよい距離が保たれている
		⑤ 互いに切り離せない	

〔問三〕 傍線部(1)『路地』の描写」とあるが、本文中で引用されている『わが町』の描写から読み取れる内容として、最

も適切なものを次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 路地の住人以外の人びとは、普段はめったに路地に入ることはない。
- ② 路地には名前がついているものもあり、住居が密集した空間もあればそうでない空間もある。
- ③ 大阪の路地には、貧乏人や商人や役人などのたくさん家族が肩を寄せ合うように暮らしている。
- ④ 路地によって長屋の特徴は異なるが、表通りから裏手にある貧乏人の街という点で共通している。
- ⑤ 河童路地の住民は、表通りの銭湯や理髪店を利用することがある。

〔問四〕 傍線部(2)「ここで注目しておきたいのは」とあるが、筆者がここで読者に伝えたかったことはなにか。最も適切な

ものを次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 『わが町』で描写された路地が実在するかを調べることは無意味であること。
- ② 路地とは生活空間であると織田作之助自身が主張していたこと。
- ③ 路地が貧乏人の町であり、表通りの生活とは大きく異なること。
- ④ 路地と長屋は置き換え可能であることが織田作之助の『わが町』から読み取れること。
- ⑤ 路地と長屋は似て非なるものであり、混同してはいけないということ。

〔問五〕 路地に関する説明として、本文の内容と一致するものを次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 辞書で説明される路地の意味は、どの地域においても通用しない。
- ② 路地の意味は東京と大阪で異なっており、辞書的な意味として使われているのは東京である。
- ③ 大阪と東京では路地の意味が大きく異なるが、大阪と京都でもその意味内容が異なっている。
- ④ 大阪や京都のように、「路地」という語句が指す意味内容は、すべての地域において異なる。
- ⑤ 大阪の近代文学では、路地の意味が大阪と東京で大きく異なることが必要以上に誇張されてきた。

〔問六〕 織田作之助の作品として適切なものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 『斜陽』
- ② 『夫婦善哉』
- ③ 『檸檬』
- ④ 『鼻』
- ⑤ 『堕落論』

【二】 次の文章を読んで、後の問い（問一〜七）に答えなさい。

以上申し上げた科学者哲学者もしくは芸術家の類が職業として優に存在し得るかは疑問として、これは自己本位でなければ^(a)トウテイ成功しないことだけは明かなようであります。何故なればこれらが人のためにすると己というものは無くなってしまふからであります。ことに芸術家で己の無い芸術家は蟬の脱殻^(b)同然で、ほとんど役に立たない。自分に気の乗った作が出来なくてただ人に迎えられたい A で遣^(c)る仕事には自己という精神が籠^(d)るはずがない。すべてが借り物になって魂の宿^(e)るヨチがなくなるばかりです。

私は芸術家というほどのものでもないが、まあ文学上の述作をやっているから、やっぱりこの B に属する人間といつて差支ないでしょう。しかも何か書いて生活費を取って食っているのです。手短かにいえば文学を職業としているのです。けれども私が文学を職業とするのは、人のためにするすなわち己を捨てて世間の御機嫌を取り得た結果として職業としていると見るよりは、己のためにする結果すなわち自然なる芸術的心術の発現の結果が偶然人のためになって、人に気に入っただけの報酬が物質的に自分に反響して来たのだと見るのが本当^(f)だろうと思います。もしこれが天から人のためばかりの職業であつて、 C 的に己を枉^(g)げて始^(h)て存在し得る場合には、私はダンゼン⁽ⁱ⁾文学を止めなければならぬかも知れぬ。 D 私自身を本位にした趣味なり批判なりが、偶然にもシヨク^(j)ンの気に合つて、その気に合つた人だけに読まれ、気に合つた人だけから少なくとも物質的報酬、（あるいは感謝でも宜しい）を得つつ今日まで押して来たのである。いくら考えても偶然の結果である。

⁽²⁾ この偶然が壊れた日には何方本位にするかという、私は私を本位にしなければ作物が自分から見^(k)て物にならない。私ばかりじゃない誰しも芸術家である以上はそう考えるでしょう。従^(l)てこういう場合には、世間が芸術家を自分に引付けるより⁽³⁾も自分が芸術家に食^(m)付いて行くより外にしようがないのであります。食⁽ⁿ⁾付いて行かなければそれまでという話である。芸術家とか学者とかいうものは、この点において我儘^(o)のものであるが、その我儘のために彼らの道において成功する。

〔問一〕 傍線部(あ)～(え)にあたる漢字を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | |
|-----|----|----|---|---|---|
| (あ) | トウ | テ | イ | ① | 登 |
| (い) | ヨ | チ | ① | 地 | |
| (う) | ダン | ゼン | ① | 全 | |
| (え) | シヨ | クン | ① | 庶 | |
| | | | ② | 所 | |
| | | | ② | 前 | |
| | | | ② | 置 | |
| | | | ② | 党 | |
| | | | ③ | 署 | |
| | | | ③ | 善 | |
| | | | ③ | 血 | |
| | | | ③ | 当 | |
| | | | ④ | 初 | |
| | | | ④ | 禅 | |
| | | | ④ | 知 | |
| | | | ④ | 到 | |
| | | | ⑤ | 諸 | |
| | | | ⑤ | 然 | |
| | | | ⑤ | 遅 | |
| | | | ⑤ | 棟 | |

〔問二〕 空所 A に入る最も適切な言葉を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | |
|---|---|---------|
| A | ① | 疑心 |
| ～ | ② | 屈辱 |
| D | ③ | 快楽 |
| | ④ | 一心 |
| | ⑤ | 道楽 |
| | ① | 種類 |
| | ② | 年齢 |
| | ③ | 性別 |
| | ④ | 組織 |
| | ⑤ | 部族 |
| | ① | 対立 |
| | ② | 規則 |
| | ③ | 平均 |
| | ④ | 消極 |
| | ⑤ | 根本 |
| | ① | 幸いにして |
| | ② | 不幸にも |
| | ③ | よからぬことに |
| | ④ | なぜならば |
| | ⑤ | いよいよ |

〔問三〕 傍線部(1)「ほとんど役に立たない」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 他者のために作った作品は、結果的に、他者に評価されないから。
- ② 他者に評価されるためには、自己を捨てる必要があるから。
- ③ 自己本位の芸術家は、職業として成功しないから。
- ④ 他者本位の芸術家は、結果的に、自己のためにならないから。
- ⑤ 他者本位の芸術家は、自己の魂が宿った本物の作品を作ることができないから。

〔問四〕 傍線部(2)「この偶然」とあるが、どのような状態を指すか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 自己本位で作った作品を、結果的に世間が気に入り、報酬につながっていること。
- ② 世間のご機嫌をまったく顧みず、自らが満足のいく作品をこれまで作り続けてきたこと。
- ③ 自己の芸術的・心術的発現の有無にかかわらず、作品が世間から評価されてきたこと。
- ④ 自分の文学作品があらゆるタイプの人たちに読まれていること。
- ⑤ 自己本位の趣味や批判が、文学作品として成立するかどうかは誰にもわからないこと。

〔問五〕 傍線部(3)「自分が」とあるが、ここでの「自分」とは具体的に誰を指すか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 芸術家
- ② 文学者
- ③ 世間
- ④ 筆者
- ⑤ 学者

〔問六〕 本文の内容と一致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 生活費が稼げるようになってはじめて、芸術家や文学者は成功する。
- ② 芸術家や文学者の多くは我儘な人間であり、世間一般から遊離しやすい。
- ③ 報酬を得るためには、自己を犠牲にし、世間に向けて作品を作る必要がある。
- ④ 自己本位であることが、芸術家や文学者として成功するための必要条件である。
- ⑤ 芸術家や文学者は、作品に対する報酬を得るために作品と向き合う必要がある。

〔問七〕 夏目漱石の作品ではないものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 『三四郎』
- ② 『硝子戸の中』
- ③ 『桜桃』
- ④ 『それから』
- ⑤ 『こころ』

【解答例】

入試年度 : 2021
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)
Ⅱ期
科目 : 基礎学力調査

〈国語〉

問No.	解答番号
1	3
2	4
3	4
4	5
5	1
6	2
7	3
8	5
9	4
10	4
11	2
12	2
13	4
14	1
15	5
16	5
17	4
18	1
19	5
20	1
21	5
22	1
23	3
24	4
25	3